

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 12月 20日

事業所名 こぼんはうすくら さいたま宮原教室 保護者等数(児童数) 21 回収数 17 割合 80%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1			・いつも整理整頓されているので活動しやすいと思います。 ・広さはあるが、テーブルとイスがあるので…	・必要に応じて室内の物は別室に移動しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17				・たくさんの先生に見守っていただいているので安心です。 ・男性職員が増えて良いと思う。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	5			・気にしながら見ていなかったため改めて確認したいと思いました。 ・未確認です。	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17	1			・成長に合った支援目標を立てて、保護者の願いや期待に寄り添う内容で作成されています。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	3			・季節に合わせて制作やイベントなど、いろいろな活動を取り入れて楽しませてもらっています。 ・季節の行事を大事にしていると思う。 ・制作や活動などとても良く工夫されています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	5	5		・今後、交流の機会があればいいなと思います。 ・コロナ禍なので…	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17				・いつもわかりやすく丁寧な説明があります。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17				・活動内容や子供の様子を連絡帳や送迎時に詳しく伝えてもらえるので安心です。 ・帰りの送りの時、きちんと話をしてくれます。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1			・どんなことにも耳を傾け、解決策と一緒に考えてもらえるので心強いです。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	7	1		・上級生の保護者とお話できる機会があればいいなと思います。 ・保護者同士はないと思う。(コロナ禍なので仕方ないが…) ・コロナが落ち着いたら、また再開されるといいのですが…	・活動の参観も兼ねた懇談会を計画いたします。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	1		1	・きちんと対応してくれていると思う。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1			・笑顔での挨拶と声掛けをしていただいています。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1			・「こぼんだより」で活動内容や行事予定などの情報を知ることができています。 ・会報が楽しみです。	
14 個人情報に十分注意しているか	17						
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17				・目につく場所にそれぞれのマニュアルがファイリングされて置いてあるので非常時の対応ができています。	・事業所からの発信が少ない。保護者会や会報を通じ周知していただける工夫をします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2			・定期的に行われているのは知っていますが、実際の訓練の様子を見てみたい。 ・あまり情報が入ってこない。	・事業所からの発信が少ない。保護者会や会報を通じ周知していただける工夫をします。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17				・学校は「バツ」、こぼんは「ピンポン」と言うくらい通所を楽しみにしています。 ・行き渋りなく楽しそうです。 ・喜んでいつも出掛けていきます。	
	18 事業所の支援に満足しているか	17				・大変満足しています。 ・いろいろ行事を考えてくれて嬉しいです。 ・時々いいので通っている保護者も見学できると嬉しいです。(普段の様子を見たいです) ・いつも変わらぬ対応をしてくださりとても満足しています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 12月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら さいたま宮原教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3	・活動内容に合わせ十分な広さを確保できるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	3		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		9	・段差がないなど工夫されている。	・トイレなどは車いすの対応は難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	・クラス会議や共有ノートを使用している。	・日々、共有しているが伝えきれていないこともあるため継続する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	4		・チェック項目のみの記入からご希望の記入が増えてきているためしっかりと改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	4	・ホームページにて掲載していません。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6	特にありません。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1	・会議にて実施している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		・随時ご相談いただける体制を継続し、計画に反映できるようにします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	5		・ツールの見直しを実施します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	・全職員で話し合いを持ち立案、計画している。	・活動の部分的な把握だけでなく、全体把握できるよう社員は心掛けていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・同活動でも内容を工夫し違うものが生れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	2	・利用児童に合わせ立案している。平日、休日により組み替えている。	・時により課題の変化があるため対応できるプログラムを決めていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2		・個別活動も必要時応じてします。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・必ず行っている。	・開始前に打合せが難しい日は前日の終了後や事前に打合せできるようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		・特記事項は振り返り、その他は今後の活動の立案、相談の時間に充てている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2	行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	1	行っています。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	4		・現在はあまり行われていないが、会議があれば必ず参加したいと考えている。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	1	・相談支援事業所を介し情報共有している。	・学校に歩み寄れるようコミュニケーションをはかっています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	8		・医療的ケア児の受け入れは行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2	・同教室に児童発達支援事業所が	・同教室児童発達支援事業所からの移行がメインとなり常に連携を図っています。また、児童発達支援事業所と幼稚園の連携がとれているため、情報共有、連携がとれています。今後も継続します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	8		・対象児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		9		相談支援等での連携しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	8		今年は未実施
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		9		相談支援等での連携しています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2	・送迎時などに伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	5		親子参観等での実施
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2		・変更事項などがあった場合速やかにお伝えできるようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2	・随時可能です。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6		・今後、保護者の方が参加しやすいような形を検討します。(1週間単位での自由参加型保護者参観と懇談会など)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			・児童発達支援管理責任者を中心に速やかに対応します。また、必要に応じ防犯カメラ映像の確認も行います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	・毎月発行している。	・保護者の方々に「見たい」と思われるように工夫続けます。
	35	個人情報に十分注意している	9		行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	8		今年は未実施
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4		・事業所からの発信が少ない。保護者会や会報を通じ周知していただける工夫をします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	6		・様々な災害の発生に備えた訓練を活動プログラムとして定期的に行うようにします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	3	行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	6		初期研修時のみ
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	8		・対象児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	2		事例集がない